

新 二 号

発行 者
平和学園 小・中学校同窓会

発行 日
平成15年9月28日

編集・印刷
サイン印刷

題 字
小学校長 中 山 洋 司

ホームカミングデーに集まろう

平和学園小学校同窓会会長 山口洋一郎

平和学園卒業生の皆さん!!

平和学園は皆さんそれぞれに、
楽しかったこと、つらかったこと、
うれしかったこと、懐かしい先生
の顔、友の顔、懐かしい学び舎を
思い出させてくれるでしょう。

40代から上の人は、今はない昔
の校舎を思い浮かべ、林間学校周
辺にのこる噴水池など昔の痕跡を
さがし、若い人はひとつひとつの
教室に、グレイニアホールに思い
出を発見するでしょう。

そして、昔と変わ
らないバザーに興じ
た自分を、思い出す
でしょう。

そうです。11月1
日は平和学園小学校
バザーの日で、同時
に平和学園小学校卒
業生の

ホームカミングデー
「昔の家へ帰る日」
なのです。

卒業生の皆さん、
クラスの友達に声を
かけあって、平和学
園に戻って来てくだ
さい。勿論先生方も
お招きします。

そして、お世話になった先生方、
遊び仲間の友達と旧交を温め、
昔懐かしいバザーを楽しんでく
ださい。
皆さんが楽しく過ごせるよう、
同窓会の部屋も整えてお待ちしております。
おられます。



皆さん、ホームカミングデーに大集合!

2003年11月1日(土) AM 11:00 ~ PM 15:00 (位まで)

(バザーはPM 13:30まで)





- バザー販売品**
- ★ 食堂 フランクフルト・マキトリ
カレー・パン・その他
 - ★ 喫茶 手作りケーキ(持ち帰り可)
各種飲物
 - ★ パウンドケーキ販売
 - ★ 手芸品コーナー
 - ★ 寄贈品コーナー
 - ★ 子どもコーナー(ゲーム)
 - ★ 校長先生の手作り野菜

小学校PTAより

PTA会長

大森 良重

今年も、もうすぐバザーを迎えます。例年本校のバザーは、子どもたちも心わくわくと楽しみにし、また、私たち保護者も年間のPTA活動の中でも最も大きな一大イベントとして考え、年度の初めから準備に入っております。

毎年バザーを開催するにあたって、何よりも大切に行っていることは、子どもも親も一緒に楽しむこと、ということではないでしょうか。

またそれと同時に、収益を学校へご寄付し、子どもたちのために還元していただきたいとも考えております。

今までは、教室のロッカーや机やパソコンの整備等に充てて頂きましたが、今年はどうなふうになるのでしょうか。今からとても楽しみです。

そのために、今年のバザーは、「すこしがんばろう」をスローガに各学年の保護者の方々に、ご協力をお願いしております。

おかげさまで児童数も年々多くなり、今年もいつそう賑やかなバザーになることと思いますが、その中で同窓会の皆様が、バザーの日をホームカミングデーとしてお集まりいただける事は、うれしい限りです。

ご盛会をお祈りいたしますとともに、是非たくさんのお客様のご来校をお待ちいたしております。



バザーと同窓会

同窓会副会長

S 38 年卒 岩倉 具司

11月に小学校でバザーがある。小学校同窓会も場所は確保した。会長が手下のぼくに「なんか企画考えろ」という。バザーといえは

不用品販売だ。会長もその線は一度考えたようだ。しかし、暗礁に乗り上げたらしい。何度も会合をサボったばかりにいきさつはわからない。きつと何か「とてつもない困難」があったのだろう。でもだからっていきなりぼくに言ってきた

でも困る。何しろぼくは無能だ。でも、任せられるらしい。わが会長は口を出さない。責任をとるだけだ。引き受けたぼくは勝手に振る舞う。「何もしない」ことに決めた。企

画の趣旨は、わずかでも収益をあげ一部を小学校へ、一部を同窓会活動費に当てようということだ。でも同窓会が参列する本旨はそこに集まって今の小学校の空気に触れることだと思ふ。同窓会はお客

様になればいいってことにした。せつかく集まっていたら、お茶もないのでは申し訳ないのでお茶くらは用意する。集まるとしきり話したら同窓生諸兄にはバザーを多に楽しんでいただく。

今年のPTAは強力らしい。不用品販売ではひとときわ力をいれているようだ！いい買い物ができるかもしれない。気に入ったものが見つからなくても「ここはひとつ母校の為」と大判を振舞っていた

だきたい。もちろん「出費をいはいはしないが不要なものは所有し

たくない」という正しいお考えの諸兄向きには、寄付金箱を用意する。たとえ一万円札でも簡単に「スリリ」と入るような思いつきり具合のいい箱を探している。おおいに活用していただく。

当日はポケットにお小遣いをソツと、そしてたつぷりと忍ばせて子供のころバザーに練り出すあの時のワクワク気分を思い出しながら、いそいそと出向いていただきたい。

平和バザーの思い出

H 3 年卒 森 早苗

私が平和学園小学校を卒業してから、十二年が経ちました。平和のバザーの事を思い出してみるとこんな時に時が経つた今でも、楽しかったなあと思ひ出されます。その中でも私が、毎年一番の楽しみ

にしていたのは、手芸品コーナーでした。聖書、賛美歌カバーやクリスマスの飾りやマスケットなど、どれも可愛いものばかりで、たくさん買った思い出があります。昨

年、平和のバザーに行きましたが、手芸品コーナーには、お母様方が趣向凝らした手作りのものがたくさん売られていて、とても懐かし

く思いました。またゲームコーナーや手作りのパウンドケーキやお父様方が汗をかきながら焼きそばを作る姿など12年経っても変わらず、

和気藹々とした雰囲気を楽しむことが出来ました。今は、グレーニアホールが食堂になっていて、子供達や先生方のリコーダーによる

生演奏を聞きながら食事ができてとても素敵でした。わいわいガヤガヤと子ども達の笑い声が絶えないことも嬉しいなあと思ひました。

子どもたちとお父様方お母様方そして先生方みんなで楽しめる平和バザーが大好きです。これからもずっとずっと平和バザーが続いて

力を合わせて、「松風」の発行、ホームカミングデーの開催など、活発な活動を行っております。しかしながら、活動していくにしたがって、従来の小学校卒業生の納入していただく6,000円の終身会費だけでは十分な運営が難しくなっております。

先日、この状況を鑑み、代表世話人会におきまして新たに年間の維持会費としてお一人1,000円の徴収をお願いさせていただくことを決定致しました。尚、小学校卒業時には、入会金として1,000円をいただきます。大学卒業時まで、維持会費は免除と言う形にさせていただくことに致します。

役員一同、より一層同窓会の親睦活動、そして平和学園小学校の発展のために貢献していく所存であります。

時勢柄、大変とは思いますが、是非納入方ご支援ご協力よろしくお願いいたします。

維持会費納入のお願い

会長 山口 洋一郎

同窓会の皆様、今般、役員一同

椎の木

皆様、ご記憶の方も多いと思いますが、昭和34、35、38年卒の佐伯三兄弟の邸宅が、父上ご逝去のため売却されることになりました。玄関脇にあった大きな椎の木が、記念にと平和学園に移植されました。(地図参照)

秋になると、大きなドングリが生るので、子供達が楽しみにしています。長らくPTA会長を務められた、亡き母上も、お喜び下さる事でしょう。ご来校の折には、是非ご覧下さい。



佐伯邸で掘り起こした椎の木



校庭にそびえる椎の木

生徒募集

(アレセア湘南中学校)

- ◆ 募集人員 / 80名 (男・女)
- ◆ 試験日 / 2月1日、2日、3日、7日

※詳細は下記まで

http://www.jr.aletheia.ac.jp/
TEL 0467-87-7760
FAX 0467-87-0496

児童募集

(小学校)

- ◆ 募集人員 / 27名 (男・女)
- ◆ 試験日 / 10月21日(火)
- ◆ 出願期間 / 9月24日~10月3日

※詳細は下記まで

TEL 0467-82-1662



旅と出会い

福島 光夫

先月のこと横山先生から電話があつて学園の小学校同窓会紙「まつかぜ」に「僕も旅の記事を書くから、君にも書いて貰いたい」と、そこでわたしは「旅と出会い」と題し、書かせて貰うことにしました。

ところが16年前、わたしは還暦を迎えました。そこで考えたことは、80年時代と言つても、やはり還暦は還暦、人生の一つの節目、そこでその節目に何かふさわしいことをしてみたい、いろいろ考えた結果、決めたのがヨーロッパと旅でした。宿から鉄道、全くの手作りの旅でした。

これが病みつきになって以来70歳まで、隔年に計5回のヨーロッパひとり旅を続けて来ました。70歳を超えると、さすが現地での宿探しは面倒になり、今は事前にホテルは予約して出掛けています。

還暦を迎えた時の最初のひとり旅は、スペイン、イタリア、ドイツ共にそれぞれ半月、その他に半月、計2ヶ月の旅でした。旅には多くの出会いがあります。それも団体旅行とは違つて、ひとり旅にはまた別のいい出会いがあります。

横山先生も最近ドイツ・ローテンブルクに行かれ、その町で出会つたことなどを書かれると聞きました。そこでわたしも旅の出会いの中から、ローテンブルクの少女との出会いについて紹介してみます。この出会いは還暦を迎えた年、16年前の最初のひとり旅の時のことです。

二年間ほど、少女コリナから何回かの便りを貰いました。

ところでこの出会いがあつて後、10年余り経つて私は71歳、20日間ほど、フランス、スイス、オーストリア、ドイツと廻るひとり旅をしました。そしてコースの最後をローテンブルク、ヴェルツブルクとしました。宿の予約をするため、ヨーロッパのホテル案内書を見ると、ドイツ・ローテンブルクの項に、少女コリナのホテル・クーヘンマイスターが載つていました。早速このホテルに三泊の予約してわたしは旅に出ました。

長旅の最後にローテンブルクのホテル・クーヘンマイスターに入りました。古いが格式のあるホテル。一泊した朝、ホテルのフロントで、このホテルのお嬢さんコリナのことを話すと、それを伝えてくれたのです。ミス・コリナから次の日、部屋に電話があり、10年余り経つた彼女、22、23歳になった彼女と再会することが出来たのです。すっかり成人した彼女はわたしの頭一つ高く、見上げる背丈、その時じいさんのわたしを抱きしめて懐かしい再会。彼女はその時、あの時の単語帳を見せてくれるのでした。大切に持つていてくれたのです。三泊してチェックアウトのフロントには、なんと、コリナのお母さんとおじいちゃんまでが出てこられ、挨拶とお土産にと南ドイツ地方の特産フランクエンワインのボトルをくださるのでした。

わたしのひとり旅にも、まだ他に多くのいい出会いがありました。

ローテンブルクのストリートシンガー

横山 哲夫

福島先生がヨーロッパを一人旅して絵を描いて来た話を聞いて、いつかはわたしもと考えていた。一昨年イタリアからフランスのパリへ、はじめて一人旅をした。それで自信がついて、今年はドイツということになった。

5月28日、ともかくフランクフルトのホテルだけは、旅行者で予約してもらつて、あとは行った先で決めようと考えて行った。「ハーベン・ズー・アイン・ツインマー」

フライ 空き部屋ありますか?と「ワイ・コストット・エス、いくら?」と。それだけ、あとは中学で習つた英語しかない。毎朝聞いているラジオのドイツ語も少しは役に立つたかどうか。

フランクフルトではゲートハウスを見て、次の日はライン川下りのツアーに行つた。それはホテルのすぐ前に観光案内のちいさな店があつたので、すぐ申し込んだのだ。ライン川は思ったよりずっと大きな川であつた。両側の岸に立つ古い城、日本とちがつて石で造つたものだからだろうか、古いのがよく残つていてと思つた。ローマ時代の砦というのもある。

次の日鉄道でボンに行く。ペーターベーンハウスは駅から歩いて30分もかからない。中に入ると彼が弾いていたピアノ、ヴァイオリン、チェロや、それに、大好きな第七交響曲第二章の自筆の楽譜が展示してあつて、うれしかった。ピアノの鍵盤が磨り減つてしまつた。これでコンチェルト「皇帝」なども作曲したのである。土産に「エリーゼのために」の楽譜を買つた。孫があと4、5年もすれば弾くようになるだろう。

次の日、ベルリンへ行こうと思つて特急に乗つた。でも途中で気が変わり、ハノーヴァーで乗り換えてライプツィヒへ行つた。ライプツィヒ・ゲヴァントハウス・オーケストラという名前をなんとなく覚えていたのと、バッハ、メンデルスゾーンゆかりの地であつたからである。

残り3日ということになって、ローテンブルクとハイデルベルクへ行こうと決めた。それは、福島先生が、いい、いいと言つていたからである。ローテンブルクはメルヘンチックな建物も今も残つていて中世以来の町である。城壁の近くの公園に行くと、ギターの音が聞こえる。行つてみると、羽飾りのついた大きな帽子をかぶり、なにやら異様な風体の男がギターを弾いている。そのうち、「アンブルンネン・フォアデム・トール」と菩提樹のメロディになり、ローレライ、野薔薇と、昔高等学校で歌つたドイツ民謡が次々と出てくる。うれしくなつてそばへ行き、大きな声で一緒に歌つてみた。ハイデルベルクではつつかれてしまつて、楽しみにしていた「アルトハイデルベルクの酒場」に行くことが出来なかつた。

火星超大接近

横山 哲夫

今年の甲子園で優勝した常総の木内監督が、インタビュで「これでわたしの人生には何も残つていません」と言つていました。実は私も八月二七日の火星大接近で、目標にしていたものが全部終わつたような気持ちです。

平和のとき、天文教室を年に4、5回づつやっていたうちに、面白いことがいくつかありました。まず最初に思い出すのはセキ・イケヤ彗星。あの時は、朝の4時半ごろ学校に集まつて見たものです。しかし次の日、高校の女生徒が一人屋上から落つこちるという大事件があつて、あれでよく命があつたものと、思い出すたびに冷や汗が出ます。(65年11月6日)

その次は、これは生徒には見せなかつたと思いますが白鳥座の新星。夏休みの終り、教会の聖書講習会で、御殿場の東山荘に行つていて、キャンプファイヤーの時に、頭の上の白鳥座を何気なく見ていて見つけたものです。一晩ちがいて第一発見者になりそこないました。これも大きな新星でした。(75年8月30日)

次は金星食、これは今40歳ぐらいになる子供たちが卒業する、その日の朝の空を見た。五時ごろ起きて、何気なく東の空を見ると、細い三日月のすぐ左下に、大きな金星が輝いていました。あ、これは金星食になる、写真を撮らなくちゃと、急いで望遠鏡とカメラを取り出し、一時間ばかり夢中でシャッターを切りました。卒業式とどっちが大切か、式に遅れて、校長先生に叱られても仕方がないと覚悟を決めました。幸い8時半には学校に着き、式は無事始められました。いい写真が撮れて、白鳥座新星の写真と共に、今も大事にしています。(74年3月20日)

その次はやっぱりハレー彗星ということになります。これは期待したほど大きくなりななくてちよつとがっかりしましたが、子供たちがもう一度ハレー彗星を見る時のために、「76年後に見るノート」というのを作らせてサインしておきました。その子たちはもうそろそろ結婚適齢期ですが、それが今の私よりも上の、80過ぎのじいさんばあさんになっている顔を想像するのも楽しいです。(86年春)

そして今度の火星超大接近。前から8月31日と予言していましたが、4日ちがつて27日でした。あいにくの長雨で心配しましたが、23日ごろから晴れて、何回か見ることができました。しかし残念なことに目が悪くなつたせいか、模様はなんとか見えたような気もしましたが、極冠までは見ることが出来ませんでした。

人事異動について

この度、理事長だった伊藤虎丸先生逝去のため、学園長の夏村充先生が理事長を兼務、荒井中学校長は退職され、中学校長に吉川友浩先生が就任なさいました。

掲示板

次号より、読者の連絡等に使用していたく掲示板という欄を作りたいと思います。クラス会の予告、自己宣伝など何にでもお使いください。また、同窓会ホームページの開設を計画しています。ITに詳しい方助けてくださいませんか。

事務局より

皆様、会長からお願いにありましたように、維持会費の納入をよろしくお願い申し上げます。また、住所変更等は、すくにお知らせください。伊藤美保子

編集後記

今年、同窓会の人事が一新されたこととあり、特別に年2回の発行となりました。今回は、ホームカミングデーの1ヶ月前までに発行ということで頑張りました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。ご感想、ご意見、原稿をお寄せ下さい。岡田枝画子・高屋弘子

連絡先

同窓会への連絡はすべて左記へ
〇四六七(八七)一六六二
平和学園小学校内 伊藤美保子
nihoko0467@mail.goon.jp